



去る10月6日に9月定例議会が終了しましたので、一般質問や総括質疑の内容などについて、一部ではありますが報告いたします。

この議会は、副市長・公平委員会委員・固定資産税評価委員の選任、令和5年度の補正予算や、令和4年度の予算が、予定通り使われたのか、市民のためになったのか、決算を審査するものでした。

## 市立広田保育所は民営化すべきでない

### 明確でない民営化の根拠

#### \*4 法人が保育事業運営の意欲を示す

会津若松市は、現在3か所ある市立保育所と幼稚園を一つにしようとしています。市内の事業者だけでは対応が困難と判断し、市外の事業者へと拡大しました。結果的に、市内外の4運営法人から委託するにあたっての考え方が示されました。

この問題については、公共性が高く、市民生活にはなくてはならないものであり、市が担うべき業務であるという考えから、今議会でも反対の立場で一般質問をしました。

#### 広田保育所の民営化計画は「一定の理解や合意」程度で進めていいのか？

**問** 市は、令和7年4月から、市立保育施設である広田保育所を民営化し、市立第3幼稚園と統合して「河東地区 幼保連携型認定こども園」に移行しようとしているが、これは市民が求めている施策なのか？

**答** 第3幼稚園の園児数が減少しており、子どもたちの年齢に応じた集団活動の機会を確保し、保育の必要性に関わらず、利用できるよう幼保連携型とする。

また、民営化については、市の役割を踏まえ、全市的な観点から方針を決定したものであり、市民の方々から一定の理解が得られたと認識している。



**問** 市民の合意は得られたと考えているのか？

**答** 保護者をはじめ市民の方々からは、公立施設としての運営を希望する意見等もありましたが、整備運営方針に賛成や理解を示すご意見や、方針を前提としたご意見ご要望が示されたことを踏まえ、市民の一定の合意が得られたものと判断し、方針を決定しました。

\* 市の説明は、民営化の根拠が乏しく、なぜ保育や教育という、公共的サービスを縮小しようとするのか、市民である保護者の負担が増えるだけになってしまうのではないか、様々な不安の声を聞きます。今後も皆様の声をお聞きし、議会で追及してゆきます。

### 保育の質の向上へ取り組みを進めるべき

**問** 私立保育所の運営費や、正規職員の数を8割にするなど、子どもの人権を守るため、保育の質を高めるべきと考えるがどうか。

**答** 私立保育所の職員を対象とした研修の実施や、研修費補助をしている。又、保育士等の確保支援や処遇改善・ICT活用支援など保育の質向上に取り組んでいる。

**問** 保育の質と保育所の財務内容は車の両輪と言われているようだが認識は？

**答** 保育の質の維持・向上には、教育・保育環境の充実や保育士等の適切な労働環境の確保が不可欠であり、そのためには、運営法人等の経営基盤の強化や、適切な財務管理が重要であると認識している。



#### 市内保育施設で虐待が発覚！

先日、市内の保育施設において児童虐待が報道されました。今年の4月に発生が確認されていたにもかかわらず、繰り返されていました。私は、子どもの人権を守るため、保育士の待遇改善など、私立保育所の保育の質を高める施策を提言してきましたが残念でなりません。早急に原因を解明し再発防止に取り組んでほしいと思います。

\*\*\*\*\*

### 7億1,746万円のデジタル田園都市国家構想

「デジタル田園都市国家構想」令和4年度だけで、7億1,746万円の補助金が交付されました。

「三方（市民・店舗・地域）良し」を目的としたこの事業ですが、果たしてどれだけの市民がその効果を楽しんでいるのでしょうか。そもそも、市民から強い要望でもあったのでしょうか。「こんなシステムがあったらいいな」程度のものばかりのような気がしてなりません。

貴重な税金ですから、市民の要望に応える事業に取り組むよう求めてゆきます。

**問** 「会津コイン」加盟店舗や銀行口座からの「会津コイン」へのチャージは、4月から開始しているが、会津財布アプリのダウンロード数と「会津コイン」加盟店舗の現状を示せ。

**答** 会津財布アプリをダウンロードした登録者数は、随時公表していないが、3月時点で3,300人を超えている。「会津コイン」加盟店舗は、6月で6店舗、9月12日時点で78店舗であり、順次拡大している。



**問** 「会津コイン」を利用した人数、回数および金額を示せ。  
**答** 3月時点の実績で、決済金額は約574千円、決済件数は1282件、利用者数は188人となっています。（半年も前の数字しか出せないのも問題）

## 7億円余もの補助金、市民に成果示せ

\*この事業は昨年度から始まったばかりですが、市民が便利で利用したくなるようなものならば、もっと広く早く普及するはずです。市は、今後も利用実績の拡大に努めるとしていますが、その数字は公表されていません。多くの市民が便利さと、お得感を感じ、地域経済の循環が図られ、市内の商店や事業者が潤うのか、いつになったら市内経済に良い影響を及ぼすのか、継続的に検証する必要があると考えます。

### 大手コンサルに補助金集中

以下は、補助金交付5,000万円以上の企業

(アクセンチュア：2億8,700万円、ソフトバンク：9,800万円、トッパン：5,700万円、TIS：5,500万円)

\* デジタル田園都市国家構想とは、大手コンサルタントに補助金が流れる仕組みがはじめからあり、地域課題の解決は後付けなのではないか疑問が残ります。

## 令和4年度決算の認定に反対

・・・1,500万円もの職員健康診断事業が契約なしに実施され、一部は職員が支払っていたことは、認められない。また、一部児童生徒に対するフッ化物洗口は、明らかな効果が認められないので、補助金の支出は認められない

### 反対理由・・・

例年行われている、市職員の健康診断事業において、令和4年度は、

県保健衛生協会や、会津若松市医師会との委託契約を行わずに業務が実施され、その一部の経費を担当職員が支払っていたことが、9月4日の市議会全員協議会で報告された。

「職場では、毎日ミーティングを実施し、様々な課題について情報共有されてきた。」との総務部の説明は信じることができない。職員同士が思いやりを持って仕事をしていないとすれば、市民に対しても同様のことが行われているとの心配がされる。



る)

また、虫歯予防の一つの方法として、市内の児童生徒の一部に対して行われている「フッ化物洗口」については、その効果が顕著に表れておらず、むしろフッ素入り歯磨きが殆どであるから、過剰なフッ素摂取にならないか不安がある。歯科医師会と連携し、虫歯のある子どもを医療につなぐべきであり、補助金支出は認められない。（フッ化物は、腎臓障害の発生が指摘されている）

## 副市長人事に反対

・・・副市長の親族が監査事務局長ポストにいるのは問題であり、道義的にも賛成できない（人事については、熟慮しますという市長答弁のとおり、10月1日付人事発令により解消されました）

**反対理由**・・・10月1日付発令の、副市長（行政事務のトップ）人事については市長提案のあった9月22日時点において、その親族が、市の事業を監査する事務方トップに在籍している。

この人事は、法的には問題がないとはいえ、行政の適正な内部牽制を無視したものであり、認められない。

反対したのは私一人でしたが、この問題に対する市長とのやり取りを福島民報が取り上げました。

.....

————— 市民の声、反映されず —————

### 「消費税インボイス制度の即時中止を求める請願」

消費税については、1989年の導入当初から、所得が低い人ほどその影響が大きい不公平な税制であるとの問題が指摘されていて、売り上げが1000万以下の中小事業者は課税の対象ではありませんでした。

国は、令和8年までの猶予期間を設けるとしていますが、赤字となった商店や事業者であっても取引があれば申告し納税しなければならない、小規模事業者つぶしの税制であり、即時中止に賛成しました。・・・賛成5、反対22、で不採択

### 「いいもり山学園の市児童健全育成事業者への参加の陳情」

いいもり山学園については、調査は不十分でしたが、運営事業者として基準を満たしているならば、待機児童解消にもつながると考え賛成しました。

・・・賛成2、反対25で不採択

7月30日の投票日から早くも3か月が過ぎました。

あの酷暑の夏がいつまで続くのかと不安に思っていたましたが、季節はいつの間にか秋、例年通り朝晩はめっきり肌寒くなってきました。あまりの変化に体がついてゆかないという声も聞かれます。また、コメの作柄が良くないし収穫量も減少、結果、所得減少と「インボイス制度」の導入でダブルパンチとなりそうです。それなのに、財界や政府は、消費税増税や軍事費倍増で武器を爆買いし戦争準備。怒！

前回報告の訂正：令和2年度までは敬老祝い金の支給は、満80歳ではなく満81歳の誤りでした。

最後までお読みいただき有難うございました。